

## 一般社団法人ヘルスソフトウェア推進協議会

### 2016年度事業報告

2014年8月1日にJEITA, JIRA, JAHISの3団体が発起人となって一般社団法人ヘルスソフトウェア推進協議会を設立した。2015年1月にGHSが定めた自主基準・適合宣言制度等の運用を開始し、2015年末時点でソフトウェア製品のGHSへの登録が41件となった。普及・教育の事業として開催したトレーニングセミナーには延べ200名以上が参加するとともに、新たな団体会員、特別会員の入会もあり、活動が広がりつつある。

2016年度は、GHS設立当初に設定した事業が一通り実施されたこと、及び登録状況、セミナー参加者のアンケート結果などから、GHSの対象となる事業者のGHSの活動に対する考え方、期待等が見えてきたことを踏まえ、今後の普及展開に向けて事業の新たな具体的施策展開の検討・企画、運営体制の強化に向けた見直し・検討を行いながら事業活動を推進した。2016年度の登録件数は10件で、2016年末時点で累計51件に達した。

#### ■ヘルスソフトウェア開発ガイドラインの制定及び改定

- ・2014年8月1日にHPで公開し、その後2016年末時点で改定は行っていない。

#### ■ガイドラインへの適合に関するルール公表と運用

- ・2016年度 登録件数 : 10件 (Level 1: 4件、Level 2: 6件)
- ・2016年度 累計登録件数 : 51件 (Level 1: 19件、Level 2: 32件)

#### ■ガイドライン普及活動及びスキル習得のための教育の実施

- ・リスクマネジメント・トレーニング講座開催: 第5回(6月)
- ・エキスパート・トレーニング講座開催: 第2回(10月)
- ・GHSマーク登録申請の促進を目的とした事業者向けリーフレットの作成・配布(2種)
- ・展示会での出展: 国際医用画像総合展(ITEM2016)(4月)

#### ■会員状況

- ・2016年度は入会・退会とも無し
- ・2016年度末の特別会員と団体会員

##### 【特別会員】

- ・一般社団法人 臨床医工情報学コンソーシアム関西

##### 【団体会員】

- ・パーソナル・コネクテッド・ヘルス・アライアンス(PCHA) 日本地域委員会
- ・一般社団法人インターホン工業会

以上